

1 ねらい

- ①地震が起きたとき主に高学年（456年）が低学年（123年）のお世話をすることができるようにする。また、共助の意識を高める。
- ②下級生は上級生の指示に従うことで、より安全に避難することができるようにする。

2 指導内容

【上級生（主に高学年456年）としての心得】

- ① 地震が起き近くに教師や大人がいない場合、上級生は下級生のお世話をする。
- ② 放送の指示がある場合は、放送の指示通りに動き下級生への指示を出す。
- ③ パニックになったり、騒いでいたりする場合には、安心させ落ち着かせる。
- ④ より安全な退避場所を指示する。
- ⑤ 集合場所に連れて行く。
- ⑥ 通路閉鎖の可能性があるので、閉鎖されいている場合は放送の指示に従い安全な通路を考えて集合場所に行く。
- ⑦ 学校以外（登下校時、遊んでいるとき）の場合も下級生のお世話をする。
- ⑧ まずは、自分の身の安全を確保することが第一に考える。（自助）それができたら下級生のお世話をする。（共助）
- ⑨ 掃除に行っている場合の避難通路も確認しておく。

【下級生（主に低学年123年）としての心得】

- ① 近くに誰もいない場合は、自分で判断して行動するが、上級生がいる場合には、上級生の指示に従い行動する。（放送がある場合は放送の指示で行動する）
- ② 学校以外（登下校時、遊んでいるとき）の場合も上級生の指示を聞いて行動する。